

7 「常設展示・特別(企画)展示・「子ども・若者」への教育普及活動の取組」等の課題

総回答者数 38

課題（複数回答可）		回答数
A	事業予算が確保できない	22
B	事業を企画・実施するための人材が不足している	28
C	長期的な視野に立った継続事業が実施できない	13
D	共催・連携する関係者が固定化し、新規参加が伸び悩んでいる	11
E	他の機関と共催・連携が進まない、ネットワークがない（※他の博物館、マスコミ、教育機関等。特別(企画)展の共催や取組拡大のために連携するものを想定。）	5
F	市民参画を推進したいが人材・ノウハウが不足している	4
G	事業の評価方法がわからない	4
H	その他	3

【補足】施設の種別ごとの回答数（複数回答可）

		総合博物館	美術博物館	科学博物館	野外博物館	歴史博物館	動物園・植物園・水族館	その他博物館
A	回答数	1	4	3	1	11	1	1
	合計割合	50.0	19.0	37.5	33.3	24.4	16.7	20.0
B	回答数	0	6	4	1	14	2	1
	合計割合	0.0	28.6	50.0	33.3	31.1	33.3	20.0
C	回答数	1	3	1	1	6	1	0
	合計割合	50.0	14.3	12.5	33.3	13.3	16.7	0.0
D	回答数	0	3	0	0	7	0	1
	合計割合	0.0	14.3	0.0	0.0	15.6	0.0	20.0
E	回答数	0	1	0	0	2	1	1
	合計割合	0.0	4.8	0.0	0.0	4.4	16.7	20.0
F	回答数	0	1	0	0	2	0	1
	合計割合	0.0	4.8	0.0	0.0	4.4	0.0	20.0
G	回答数	0	2	0	0	2	0	0
	合計割合	0.0	9.5	0.0	0.0	4.4	0.0	0.0
H	回答数	0	1	0	0	1	1	0
	合計割合	0.0	4.8	0.0	0.0	2.2	16.7	0.0
回答数の合計		2	21	8	3	45	6	5

【補足】その他の概要（抜粋）

- ・事業予算が限られており、運送費等を軽減するため、作品をまとめて保管している作家と連携することが多くなっている。
- ・事業承認後から事業実施までの期間が短く、他の機関との共催等を行っていく。
- ・若年層の参加を促進したいが、古文書講座・講演会は老年層の参加に偏っており、企画の魅力・宣伝が不足している。
- ・館単独の予算・専属のスタッフがいない。

●常設展示・特別(企画)展示・「子ども・若者」への教育普及活動の取組」等の

内容・実施方法等に対する来館者からの要望等（抜粋）

- ・多くの事業で実施しているアンケートでは、様々な要望をいただいている  
（→アンケート結果は官報に掲載し、随時、改善を図っている。）
- ・企画展等の回数の増加。（→予算要求し、企画展等の実施回数を増やしていきたい。）
- ・大学等との連携強化による、新たな魅力の付加・認知度の向上・地域振興への寄与。  
（→ミュージアムコンサート、ワークショップ等における学校・地域との連携の強化を図る。）
- ・来館者アンケートでは、展示物・職員の説明には概ね良好な回答を得ているが、様々なジャンルの展示・講座の要望が多い。（→来館者はリピーターが多いことから、何度見ても飽きない展示の充実・工夫を図りたい。また、幅広い世代が楽しめる展示、講座、イベントを実施したい。）
- ・出張事業の実施（→現状は人的余裕がなく、新規人材の確保が必要。）
- ・学校に合わせた受け入れ（→解説内容は適宜対応。休館日でも極力受け入れる。）
- ・駐車場の設置
- ・館の専門である縄文時代以外の展示（→通史的な企画展示を行うことで対応。）
- ・県内在住者を対象とした、磯の生物観察会の開催